

言語伝達の文明史的発展

2021年2月21日作成 櫻庭 慎吾

西 暦	王 朝	事 項	媒 体(メディア)	伝 達 の 目 的 等
BC1700年頃	商(殷)	甲骨文字の発明	甲骨(亀の甲、牛などの肩甲骨)	○王と神、神意 (神権政治)
BC1100年頃	殷の紂王、牧野に敗る			
BC1100年頃	周の武王即位	金文	鐘・鼎 等 <small>かなえ</small>	○王と諸侯、封土の確認 (封建制度) 又、子孫に伝える鼎(宝器)に鑄造の由来を述べた。
春秋期		周の大篆 <small>だいてん</small>	竹簡・木簡	○論語・cf.青史 韋編三絶、纂修・纂述
B C221	秦 秦滅ぶ	秦 李斯の小篆		○詩経(孔子篇)誦詠のためのテキスト。
BC 206	前漢	蝌蚪文字	漢代の竹簡	
AD 105	後漢		蔡倫、世界で始めて紙を発明	175年、蔡邕(132~192)らに命じて「五経」の文字を正し、石経を大学門外に建てさせた。
AD 220	後漢滅ぶ : :	書体の発展		
AD 265	三国時代 晋		卷 (書巻・画卷)	書家・王羲之 (303~379) 日本に伝わり平仮名を生む。
AD 420	南北朝 : :	書写の時代		○人と人 (比較的少人数) 僧 鳩摩羅什 (344~413) 法華経 他多数の仏典あり。

西 暦	王 朝	事 項	媒 体(メディア)	伝 達 の 目 的 等
AD 618	唐	仏典・暦などの印刷		五世紀 渡来人の王仁 日本へ論語・千字文を伝える 538年 日本に仏教伝来す。 604年 聖徳太子
AD 907	唐滅ぶ			
AD 960	宋興る	印刷術の発展 →文字文化の普及	巻より→本の形式への変化 背とじ製本 胡蝶折りなど	○人と人（大衆） ○人間精神の開放→東洋のルネッサンスを生む一因。
AD 1278	宋滅ぶ 元 明 清			cf. 西洋 1450年 グーテンベルク活字印刷術
AD 2020	現代	インターネットの盛行	○情報(言語と音声)の共有化 (メディア時代) ○図書ばなれ、 同時翻訳 ○ペーパーレス時代 -----	何処へ進むのか→?